

**燕労災病院の理念**

働く人々と、地域の人々のために最善の医療を目指します。

**病院の基本方針**

安全で質の高い医療の提供を目指します。

勤労者の健康管理を支援します。

医療に関する教育・研修を支援します。

地域の人々の健康を守り、福祉に寄与します。

**目次:**

* 新年度に際して	1
* HbA1c (ヘモグロビンエーワンシー) の国際標準化について	2
* 医師の交代について	3
* ストーマ外来および褥瘡ケアのご案内	3
* 24年度市民医学講話開催予定	3
* 編集部より	3
* 外来診療科別担当医師表	4

# 燕ろうさいつうしん

**【新年度に際して】**

消化器内科副部長 上村 博輝

燕労災病院内科（消化器内科）に赴任させていただき2年目となります。

2011年度を振り返り、当科の業務の現状について紹介させていただきます。

1. 外来では胃カメラで食道、胃、十二指腸の腫瘍性病変の早期発見、潰瘍の検索、大腸カメラでは腫瘍性病変の早期発見と外来内視鏡的治療（生検、HOT生検、粘膜切除）、炎症性腸疾患の状況の把握をします。腹部エコーでは非侵襲的に肝臓、胆嚢、膵臓（描出は難しく起座位になってもらいます）、腎臓膀胱（尿をなるべくためてもらおうとみやすいです）前立腺のスクリーニング検査を施行しております。緊急性があればCT、MRIの検査は当日緊急で施行でき助かっております（大病院だと難しい場合があります）。



また、当院は外科のスタッフがそろっておりますので、手術適応のものは素早く外科に紹介しております。確定診断がつかないものに関しては入院精密検査を行っております。

2. 外来治療では、潰瘍があれば積極的にピロリ菌検査（内視鏡時、採血、尿便でも検査可能）と除菌治療（二次除菌もありますので90%の確率で除菌できます）、慢性B型肝炎への抗ウイルス薬の導入（1回の採血で肝機能障害がなくても抗ウイルス薬を導入すべき患者様も多いです）、慢性C型肝炎へのインターフェロンの導入（発癌の予防ができるので無症状でも丁寧に説明して導入してもらっております）に努めております。

外来化学療法室（広くて落ち着けるスペース）を使用しての化学療法も継続しております。

3. 紹介頂いた患者様も含めまして、体調が悪ければ、ひとまず入院していただき、状況を判断しながら総合診断させていただきます。入院治療においては食道癌には放射線化学療法、ステント挿入術、早期胃癌の内視鏡的粘膜下層剥離術、肝臓癌のカテーテル治療、ラジオ波焼灼治療を胃癌、胆嚢癌、膵癌、切除不能大腸癌には全国標準の化学療法、場合によっては胆管ステント挿入や癌性大量腹水の患者様には腹水再還流静注療法も導入しております。緩和ケア委員会も存在し、チームで緩和ケアを行っております。

その他、食道静脈瘤結紮術、APC焼灼術、自己免疫疾患に関しては免疫抑制剤の導入などをしております。

4. 緊急処置に関しては、内視鏡的異物除去、止血術、胆管結石の内視鏡的ドレナージ、排石術、肝膿瘍ドレナージ術、経皮経肝胆管穿刺、胆嚢穿刺術も施行しております。

5. 重症患者様につきましては当院にて血漿交換療法をしながら、新潟大学病

院に紹介して生体肝移植などを検討して頂いた事例があります。内視鏡専門医、消化器病専門医、肝臓学会専門医がそろっておりますので、適応を見極めて新潟大学病院、済生会新潟第二病院と連携させていただきました。なるべく早期退院に努めておりますが、地域の年齢層の特性上、簡単にはいかないことを実感しております。

将来、病院からも外来で診ている人を往診できるか、往診するシフトを地域連携で組んで、家で過ごしたい人に有意義な時間を過ごしていただきたいと考えております。しかし、上記の通常業務を消化器内科医2人で施行して、内科当番、病院当直、緊急カメラ当番、病棟の呼び出しもあり、このペースで働けるのもあと数年です。免疫の基礎研究に一区切りついたら、地域医療にまた積極的に携わらせていただこうと考えていますが、行政も含めて同じ気持ちをもっていて時間に余裕のある方がいらっしゃればご検討お願いします。

## 【HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）の国際標準化について】

### 1. HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）とは

- ・糖尿病関連検査の一つで採血から過去約 1～2 カ月間の血糖値の平均を反映し、食事の影響を受けず、空腹でなくても検査可能です。
- ・HbA1cの値と多くの合併症との関係がわかっているため、糖尿病の診断や治療に大変重要な検査項目です。

### 2. 国際標準化とは

- ・その国によりHbA1cを測るときの測定条件設定のわずかな違いがあり、日本ではJDS値で測定されてきました。しかし日本以外の諸外国はNGSP値と言われる条件で測定しています。そのためJDS 値同士、NGSP 値同士は直接比較できるが、JDS値と NGSP 値とは測定条件が違うため直接比較できず、値をどちらかに換算する必要があります。ポイントは、我が国以外のほとんどの国々で NGSP値が使われ事実上の世界標準となっていること、日本のJDS値は NGSP値に比較して約0.4%低い値となることです。つまり今までの測定値（JDS値）に0.4%足した値が国際標準値（NGSP値）になり、国際標準化されたこととなります。

### 3. いつから変更されるのか

- ・平成24年4月1日から日常臨床でもNGSP値を用い、当面の間JDS値も併記します。しかし特定健診・特定保健指導（たとえば人間ドックや職場健診等）は平成25年3月31日まではJDS値のみを用いて結果を報告することになっているので注意が必要です。

### 4. どのような表記方法になるのか（燕労災病院の場合）

- ・日常診療ではA1C-NGSP(値)とA1c-JDS(値)を併記します。
- ・特定健診・特定保健指導ではHbA1cとJDS(値)のみの表記になります。

### 5. HbA1cの数値を見るときどんなことに注意すればよいのか

- ・一番大切なことは、HbA1cの値がJDS値なのかNGSP値なのか、ということです。施設によって状況が異なる可能性があるため、値がJDS値かNGSP値かについて判断に迷った時は、必ずその検査を受けた病院や健診機関に確認してください。

### 6. HbA1cの値が約0.4%高くなり、糖尿病と診断されやすくなるのか

- ・診断の基準値も0.4%高くなるので、糖尿病と診断されやすくなることはなく、糖尿病の患者さんが増えることもありません。

### 7. 糖尿病の治療をして、受診毎にHbA1cを測っている。4月1日以降の値と3月31日以前の値を比較するにはどうすればよいのか

- ・通院中の病院の医師に相談するのが一番安全です。必ず医師と相談の上、ご自身の糖尿病の状態を正しく理解してください。（右図：リーフレットの一部）



## 【医師の交代について】

平成24年4月から次のとおり医師が交代いたしましたので、よろしくお願いたします。  
 なお、診療日程は4ページをご参照下さい。

平成24年4月1日付け採用医師

消化器内科副部長 岩崎 友洋 (青柳 智也副部長の後任)

神経内科医師 川村 邦雄 (佐藤 大介医師の後任)

### 褥瘡ケアは当院・皮膚科へご紹介下さい

当院では医師が局所治療を行ったのち、皮膚・排泄ケア認定看護師が御家族やケアマネージャーの方へ家族指導、生活支援指導を行う体制で診療にあたっており、褥瘡患者様へより適切な治療やケアを提供しております。

患者様を紹介いただく場合は、皮膚科あての紹介状を地域医療連携室へファクシミリにてお送りいただければ幸いです。



### 皆さん ご存知でしたか？

ストーマ装具が看護師でなくても交換できること

昨年7月～専門的な管理の必要とされない場合のストーマ装具交換は医行為から外れることとなり、医師や看護師でなくとも交換可能となりました。

ストーマ保有者にはストーマ管理を専門的に行う皮膚・排泄ケア認定看護師の長期的サポートが必要です。皮膚トラブルや便の漏れなどがありましたら、当院ストーマ外来をご利用下さい。

第2・4金曜日(8:30~12:15) 要予約  
 ケアされる方で困っていることがありましたら、0258-64-5111 内線826 三須まで連絡下さい。



## 【市民・勤労者医学講話・24年度予定表】

開催場所は当院1階外来ホール、開始時間は各日の18:30からとなっております。

ご聴講は無料ですので、ぜひお越し下さい。

都合により、講演者や演題の一部が変更になることがありますので、ご了承下さい。

日付	演題	講演者
5月8日(火)	糖尿病と末梢神経障害について ～糖尿病でしびれを感じたら～	神経内科部長 菊川医師
7月10日(火)	膝痛、腰痛の運動療法について	中央リハビリテーション部 内田部長
9月11日(火)	市民のための救急対応講座	新潟医療技術専門学校 麻酔科医 羽柴医師
11月13日(火)	薬の正しい飲み方について	薬剤部

### 【編集部より】

長い寒い冬がようやく過ぎ去り少し暖かくなってきましたね。春といえば桜、待ち遠しい方もいるのではないのでしょうか？桜を見ながらの宴会が増えてくる時期です。自分の身体とアルコールとうまく付き合い楽しいお花見にしてください。(記：か)

